

## SPODフォーラム2018参加者の皆様へ

この度は、SPODフォーラム2018 in うどん県香川へご来場いただき、誠にありがとうございました。今年は例年よりもかなり暑い中での開催となりましたが、全国一面積の狭い香川県に、463名（うち、SPOD加盟校から275名、加盟校外から188名）もの参加者にお越しいただき、プログラムの受講者は延べ1,590人にも上りました。SPOD事業が10周年を迎えた今年、香川県において初めてSPODフォーラムを開催させていただいたにも拘らず、大きな問題も生じずに全プログラムを無事終了することができましたこと、SPODフォーラム2018スタッフ一同、厚く御礼申し上げます。

フォーラムの全体テーマは「教職員のミニマムエッセンシャルズを考える」というものでした。本フォーラムを通して、何を最低限身につければよいのかについて、参加者それぞれの立場ごとに深く考える良い機会になったのではないかと考えています。トップリーダーセミナーでは寺崎昌男先生と福島一政先生を講師にお招きしまして、本学からも学長・理事・副学長など大勢の執行部メンバーが受講し、大学の今後の管理運営について有益なご助言をいただきました。シンポジウムでは「大学教職員に今、何が求められるのか」というテーマを設定いたしまして、金子元久先生と山口裕之先生にシンポジストをお願いし、SDが義務化された現在、大学教職員に求められる新たな資質についてアドバイスをいただきました。さらに小林直人先生に指定討論者として、SPOD事業の10年とさらなる10年に向けての抱負もご説明いただき、充実したものとなりました。

参加者の皆様には、各プログラム終了後のアンケートにもご協力くださりありがとうございました。ご記入いただいたご意見等は、今後のSPODプログラム開発や、次年度以降のフォーラムに活用させていただきます。

来年のフォーラムは2019年8月28日(水)～30日(金)に愛媛大学において開催される予定です。来年も松山においてまた皆さまにお会いできますことを楽しみにしております。

SPODフォーラム2018事業実施責任者  
石井 知彦（香川大学 大学教育基盤センター 能力開発部長）  
SPODフォーラム2018スタッフ一同

# SPODフォーラム2018

## フォトアルバム



2901A 学生の学びを促すシラバスの書き方



2901B グループワークで学ぶ自校の歴史  
- 「香川大学検定」を例に -



2901C 反転授業をやってみよう  
- 橋本メソッドの実践から -



2901D 大学職員の基礎力を考える



2901F 職員のための SP 作成ワークショップ



2902A 基礎から学ぶ学習評価法



2902B 今さら聞けない ICT 利用による  
教育の意義と方法



2902C 大人数講義のコツ



2902D 図書館員のための  
アジア諸国情報の調べ方  
- 留学生に対する図書館利用支援 -



2902E 若手職員のための  
キャリア形成入門



2902F SD 担当者研修  
- 戦略的な人材育成をするために -



2903A 学生参加型授業の技法



2903B 学生のためのキャリア形成支援



2903C 教職協働で学習支援に取り組む  
-理想と現実のギャップを埋めよう-



2903D 大学職員のための  
フィードバック入門



2903E 若手職員に知ってもらいたい  
「報・連・相」のコツ  
-もっと良くなる  
職場内コミュニケーション-



3001A シラバス・授業を改善しよう！



3001B 大人数でも進度を落とさず  
アクティブラーニング  
-TBL という反転授業のやりかた-



3001C 学生・若手職員の  
ミニマム・エッセンシャルズを考えよう！  
-成長を促す振り返りにむけて-



3001D 数学 IR データを  
適切に取り扱うために  
-組織または個人で  
できることを考える-



3001E 【トップリーダーセミナー】  
管理職のための、  
新たな入試・学生募集・高大接続を  
考えるセミナー



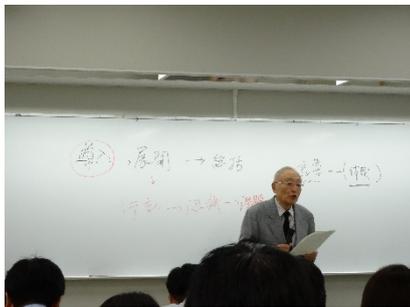
3001F 理工系講義形式授業における  
1回の授業デザイン



3002B 初年次教育における  
シナリオ型 PBL の実践



3002C 中堅教員のための研究指導講座  
(大学生の卒論作成を支援する方法)



3002E 【トップリーダーセミナー】  
大学アイデンティティの共有と  
教員・職員の役割  
-大学を考え、自校を知り、  
ミッションを実現する-



3002F 教職課程事務担当者の基礎力講座  
-教職課程事務の学び方と  
知識の活用方法-



3101A 授業内グループワークへの  
参加意欲を高めるための  
アイデア



3101B 障害学生の支援について



3101C 学生の学ぶ意欲を引き出す  
授業とは？



3101D 職員のための  
「前向きな職場づくり」実践  
-個の力・組織の力を活かす-



3101E 教職員のための「大学の危機管理」  
-事例から考えるハラスメント-



3101F FD 担当者研修  
-問題解決のためのFDを設計する-



3102A ルーブリック評価入門  
-考える、つくる、活用する-



3102B 大学教職員のための留学生受入実践  
：最初の1ヵ月



3102C グラフィックシラバスを書こう



3102D 5年後のなりたい自分像のために  
-何から始めますか？-

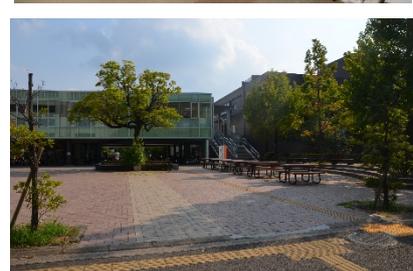


3102E ケースメソッドを活用した能力開発  
(SPOD フォーラム 2016  
優秀ポスター賞受賞組)



ポスターセッション

# シンポジウム「大学教職員に今、何が求められるのか」



ご来場いただきありがとうございました